

北海道支部

2018年

☆6月30日(土)第186回研究談話会(札幌市立大学)

題目:「ポータブルとグローバル——ヨクナパトーフアを見下ろす批評家カウリーと作家フォークナー」

発表:本村浩二(駒澤大学)
司会:松井美穂(札幌市立大学)

*終了後、総会

☆8月18日(土)第187回研究談話会(札幌市立大学)

題目:「Herman Melvilleの“The Two Temples”が描く異邦人」

発表:鈴木一生(北海道大学大学院)
司会:鎌田禎子(北海道医療大学)

☆9月1日(土)第28回アメリカ文学会北海道支部大会(北海学園大学)

特別講演

演題:「伝統とBob Dylanの才能」

講師:飯野友幸(上智大学)

司会:上西哲雄(東京工業大学名誉教授)

シンポジウム

題目:「アメリカの外へ、文学の外へ——ポストモダン以後のアメリカと文学について」

司会・講師:本城誠二(北海学園大学名誉教授)
「ノワールと敗れ去る探偵」

講師:加藤隆治(北海道科学大学)

「Fresh Off the Boat——アジア系アメリカ人はアメリカ人なのか?」

講師:藤井 光(同志社大学)

「移動と共感のエコノミー——21世紀アメリカ小説とその外をめぐる」

コメンテーター:飯野友幸

☆12月8日(土)第188回研究談話会(北海学園大学)

題目:「コンクへの共感と拒絶の狭間で——『持つと持たぬと』に見るヘミングウェイの夫・父親像」

発表:本荘忠大(旭川工業高等専門学校)
司会:伊藤 章(北海道大学名誉教授)

2019年

☆2月16日(土)第189回研究談話会(北海学園大学)

題目:「Mark Twainにおけるmonarchyとは?——A Connecticut Yankee in King Arthur's

Courtを中心として」

発表:新関芳生(関西学院大学)

司会:久保拓也(金沢大学)

☆3月16日(土)第190回研究談話会(藤女子大学)

題目:「エズラ・パウンドとアメリカ性」

発表:渡辺信二(山梨英和大学)

司会:松田寿一(北海道武蔵女子短期大学)

☆3月31日『北海道アメリカ文学』第35号発行

【特別寄稿】

伝統とBob Dylanの才能

飯野友幸

【特集】「アメリカの外へ、文学の外へ——9.11以降のアメリカの文学／文化について考察する」

はしがき

本城誠二

「ノワールとやぶれざる探偵」

本城誠二

「観光客と難民のあいだで:移動と共感をめぐる21世紀アメリカ小説」

藤井 光

「Fresh Off the Boat:アジア系アメリカ人はアメリカ人なのか?」

加藤隆治

【研究論文】

「断頭台の亡霊——“The Murders in the Rue Morgue”とフランス革命」

岡本晃幸

「ポータブルとグローバル

——ヨクナパトーフアを見下ろす批評家Cowleyと作家Faulkner」

本村浩二

【新刊書紹介】

研究書

富士川義之 編『ノンフィクションの英米文学』所収

○鎌田禎子 著

「「真実らしさ」の原理——エドガー・アラン・ポーの想像力と真実」

○島貫香代子 著

「エリザベス・アンダソンと他の有名なクレオールたち——フォークナーとスプラトリングとの友情を中心に」

○本荘忠大 著

「フレデリック・ヘンリーの特異なイタリア人像——伝記的背景から読む『武器よさらば』」

○松井美穂 著

「戦争のメンバー——第二次世界大戦とカーソン・マッカーズ」

○本村浩二 著

「「黒い白人」の深南部での旅記録——『ブラッ

ク・ライク・ミー』における人種アイデンティティ」

○藤井 光 著

「虚構にとっての他者——現代作家におけるノンフィクションと「偽装」をめぐる」 岡本晃幸

斎藤彩世 著

『境界を持たない愛——ヘンリー・ジェイムズ作品における同性愛をめぐる』 瀬名波栄潤

花岡 秀 監修, 藤平育子, 中 良子 編著

『フォークナー文学の水脈: Beyond Faulkner's South』所収

○上西哲雄 著

「優しさはなぜ拒否されなければならないのか——『ハックルベリー・フィンの冒険』の逃亡の理由探しとしての『八月の光』」

○松岡信哉 著

「ネイティブ・アメリカン表象におけるアクチュアルとアポクリファル——ヘミングウェイとフォークナー」

○平石貴樹 著

「フォークナー的水脈とはなにか」 松井美穂

東北支部

2018年

☆4月21日(土) 2018年度第1回役員会・講演会・総会(東北大学片平さくらホール)

講演会 上西哲雄(東京工業大学名誉教授)

「いまさら文学とは何か〜あるべきテキスト／あるべき読み方」

司会: 井出達郎(東北学院大学)

☆6月9日(土) 第2回役員会・6月例会(東北大学片平さくらホール)

研究発表1

土屋陽子(弘前大学)

「*The Stoic* における女性描写——Berenice に示された Dreiser の社会観」

司会: 渡邊真由美(山形県立米沢女子短期大学)

研究発表2

高橋 愛(岩手大学)

「愛を請う人——*The Passages of H.M.* におけるメルヴィル」

司会: 村上 東(秋田大学)

研究発表3

齋藤博次(岩手大学)

「*The Disinherited* におけるリアリティとリアリズムの相克」

司会: 村上 東(秋田大学)

☆12月15日(土) 第3回役員会・12月例会(東北大学片平さくらホール)

研究発表1

飯嶋良太(福島大学)

「レオ・レオニの民族的アイデンティティ」

司会: 村上 東(秋田大学)

研究発表2

渡邊真由美(山形県立米沢女子短期大学)

「『四十歳の旅人』におけるドライサーのヨーロッパ観」

司会: 土屋陽子(弘前大学)

研究発表3

藤倉ひとみ(順天堂大学)

「『片腕』における男性性と死」

司会: 宇津まり子(山形大学)

2019年

☆3月16日(土) 第4回役員会・3月例会(東北大学片平さくらホール)

研究発表1

田島優子(宮城学院女子大学)

「ナサニエル・ホーソンの短編作品における女性像」

司会：高橋 愛（岩手大学）

研究発表 2

星かおり（東北学院大学（非））

「*Kindred* 試論」

司会：宇津まり子（山形大学）

☆3月31日（日）機関誌発行『東北アメリカ文学研究』第42号

（研究論文2，特別寄稿論文1，講演1，書評／映画評4）

☆4月20日（土）2019年度第1回役員会・講演会・総会（東北大学片平さくらホール）

講演会 柴田元幸（翻訳家・東京大学名誉教授）

「訥弁の雄弁——アメリカ文学を訳す」

司会：中山悟視（尚絅学院大学）

東京支部

2018年

☆4月例会 2018年4月14日（土）午後2時より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス南校舎4階445教室

特別講演：“It’s all one case.” ——Ross Macdonald をめぐって

講師：若島 正（京都大学名誉教授）

司会：諏訪部浩一（東京大学）

★特別講演終了後、支部総会を開催

☆5月例会 2018年5月26日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス南校舎443教室

研究発表：エマソンの善意と弱点——エッセイ “Compensation” を読む

講師：堀内正規（早稲田大学）

司会：折島正司（青山学院大学名誉教授）

分科会：

近代散文：死を見ること——Poe の “The Facts in the Case of M. Valdemar” におけるゴシック美学の変容

福島祥一郎（東京電機大学）

現代散文：ダンス・ウィズ・ベイン——*Save Me the Waltz* における自己像の語りなおし

羽場百合愛（津田塾大学・院）

詩：E. A. Poe と Paul Simon の “Silence” ——Thomas Hood の詩を手がかりとして

宇佐教子（首都大学東京・非）

演劇・表象：育児とメロドラマ——『クレイマー、クレイマー』における感情と新自由主義

関口洋平（明治学院大学・非）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆6月例会 2018年6月30日（土）午後1時30分より

場所：慶應義塾大学三田キャンパス西校舎513教室

シンポジウム：ハーレム・ルネサンス再訪

司会・講師：竹谷悦子（筑波大学）

講師：三石庸子（東洋大学）

講師：佐久間由梨（専修大学）

講師：千代田夏夫（鹿児島大学）

分科会：

近代散文：「世間」の中で生きること——*The Portrait of a Lady* における資本主義的価値体系のレッスン

斎藤寿葉（早稲田大学・院）

現代散文：Faulkner の *Sanctuary* 改稿における冒頭部の再配置

岡田大樹（専修大学・非）

詩：G. Snyder と大地の時間——*Mountains and Rivers Without End* における non-human のまなざし

戸張雅登（日本工業大学・非）

演劇・表象：ディズニー・ミュージカルの日本受容——劇団四季の理想とスターシステム
武田寿恵（神奈川工科大学・非）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆9月例会 2018年9月22日（土）午後1時30分より
場所：慶應義塾大学三田キャンパス南校舎445教室
研究発表：戦後日本にとって「黒人文学」とは一体何だったのか？——『黒人文学全集』（1961-63）の編纂を中心に

講師：有光道生（慶應義塾大学）

司会：杉山直子（日本女子大学）

分科会：

近代散文：地理的想像力と南北和解——連作短篇集としてのチャールズ・チェスナット *The Conjure Woman*
遠藤郁子（法政大学）

現代散文：ジャック・ロンドンの短編「ムーンフェイス」を読む——世紀転換期における「月」の言説をめぐって
五井結基（白百合女子大学・院）

詩：「安全地帯」から——Sylvia Plath の *Ariel* における身体・音・視線
田中美和（東京電機大学・非）

演劇・表象：知性のパラダイムをめぐって——19世紀後半のアメリカで起きていたこと
中川智視（明治大学・非）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆11月例会 2018年11月17日（土）午後1時30分より
場所：慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟 A・B 会議室

研究発表：フィリップ・ロスの文学遺産——その変遷と継承者たち

講師：坂野明子（専修大学）

司会：伊達雅彦（尚美学園大学）

分科会：

近代散文：Elizabeth Peabody の超絶主義と東洋思想——“A Vision”（1843）を中心に
内堀奈保子（日本大学）

現代散文：*Absalom, Absalom!* における Scottish としての Thomas Sutpen
木下裕太（武蔵野美術大学・非）

詩：アマストから離れて——ボストン下宿期

のエミリー・ディキンソンの「仕事」

金澤淳子（早稲田大学・非）

演劇・表象：オニールの都市表象

大森裕二（拓殖大学）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆12月例会 2018年12月8日（土）午後2時より
場所：慶應義塾大学三田キャンパス西校舎513教室
シンポジウム：環境をアダプトする：エコクリティシズムと視覚芸術

司会・講師：波戸岡景太（明治大学）

講師：野田研一（立教大学名誉教授）

講師：齊藤弘平（青山学院大学）

講師：日高 優（立教大学）

2019年

☆1月例会 2019年1月26日（土）午後1時30分より
場所：慶應義塾大学三田キャンパス A・B 会議室
研究発表：Whitman と宮沢賢治——比較詩学の試み

講師：富山英俊（明治学院大学）

司会：堀内正規（早稲田大学）

分科会：

近代散文：Ahab の反逆をめぐる *Paradise Lost* から *Moby-Dick* への影響

奈良裕美子（公立諏訪東京理科大学）

現代散文：ドナルド・バーセルミ作品における図像の使用
足立伊織（東京大学・院）

詩：アドリエンヌ・リッチ作品における対話の手法とその目的——1970年代作品を中心に

水口小百合（駒澤大学・非）

演劇・表象：声なき声を回復する——ジョージ・ワシントンの161歳の元乳母ジョイス・ヘス
細野香里（明治大学・非）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

☆3月例会 2019年3月23日（土）午後1時30分より
場所：慶應義塾大学三田キャンパス A・B 会議室
研究発表：ジェイムズ・フェニモア・クーパーのアメリカの語り方——Littlepage 三部作を中心に

講師：若林麻希子（青山学院大学）

司会：野口啓子（津田塾大学）

分科会：

近代散文：女性にとってのアメリカン・ルネサンス——Caroline Wells Healey Dall, *Transcendentalism in New England* を中心に

伊藤淑子（大正大学）

現代散文：農家女性たちの声——*Now in November*
が提起する問題

山崎亮介（一橋大学・院）

詩：Robert Frost's Scared Mind——ダークネ
スが包含するもの

狭間敏行（創価大学・非）

演劇・表象：光の政治学——リチャード・フライシャー
『マンディンゴ』における色調と身体
早川由真（立教大学・院）

★分科会終了後、支部運営委員会を開催

中部支部

2018年

☆6月例会

6月16日（土）愛知大学名古屋キャンパス講義棟
2階207教室

研究発表

（1）千葉洋平（中京大学）／司会：本田安都子（福
井大学）

「アートの機能——Nathanael West の *The
Dream Life of Balso Snell* における精神分析
とシュールレアリスム」

（2）藤田淳志（愛知学院大学）／司会：村山瑞穂
（愛知県立大学）

「*Angels in America* 再考——トランプ政権
下のリバイバルプロダクション（2018）が示
すもの」

☆9月例会

9月15日（土）南山大学 Q 棟 5 階 Q501教室

研究発表

（1）菅井大地（松山大学）／司会：森 有礼（中京
大学）

「Cynthia Kadohata の *In the Heart of the
Valley of Love* における環境汚染と身体」

（2）山辺省太（南山大学）／司会：川村亜樹（愛知
大学）

「トラウマの文学的表象 / トラウマの物質化
——Tim O'Brien の *In the Lake of the Woods*
と Kurt Vonnegut の *Slaughterhouse-Five*」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆11月例会

11月17日（土）南山大学 Q 棟 5 階 Q501教室

研究発表

（1）早川真理子（名古屋大学・院）／司会：小池理
恵（常葉大学）

「John Hamamura の *Color of the Sea* におけ
るフェンス」

（2）藤井 爽（近畿大学）／司会：小池理恵（常葉
大学）

「通貨としての感情——イーユン・リーの短
編における感情の表象」

★例会終了後に運営委員会を開催。

☆ワークショップ（読書会）

12月8日（土）南山大学 Q 棟 5 階 Q501教室

テキスト：Chimamanda Ngozi Adichie, *The
Thing Around Your Neck* (2009)

司会：三輪恭子（東邦大学）

講師：永瀬美智子（愛知大学）

講師：本田安都子（福井大学）

講師：佐々木真帆美（金城学院大学・非）

★ワークショップ終了後に臨時運営委員会を開催。

2019年

☆2月例会

2月16日（土）静岡文化芸術大学 南279中講義室
研究発表

（1）玉井潤野（三重大学）／司会：山辺省太（南山大学）

「母親たち——トマス・ピンチョン『ブリーディング・エッジ』における処女懐胎のテーマ」

（2）川口雅也（浜松学院大学）／司会：川本 徹（名古屋市立大学）

「*Star Trek: Discovery* にみるテレビ文学の現在形——新たな媒体による文学はどのように考察されるべきか」

★例会前に役員会を開催。

☆第36回支部大会

4月20日（土）南山大学 Q 棟 1 階 Q104教室
研究発表

（1）小池理恵（常葉大学）／司会：社河内友里（豊橋技術科学大学）

「Suicide in Literature——目取真とデリーロの自死のかわし方」

（2）クリストファー・アームストロング（中京大学）／司会：村山瑞穂（愛知県立大学）

「Place, Race and Automobility: Hisaye Yamamoto in the Republic of Drivers」

シンポジウム

「ハーレム・ルネサンスとは何か」

司会・講師：鶴殿えりか（愛知県立大学・名誉教授）

講師：ハーン小路恭子（金沢大学）

講師：平沼公子（名古屋短期大学）

講師：宮本敬子（西南学院大学）

特別講演

講師：今村楯夫（東京女子大学・名誉教授）／司会：柳沢秀郎（名城大学）

「ヘミングウェイのスペイン——光と影の揺らぎ」

★研究発表後に総会を開催。

関西支部

2018年

☆7月例会 7月14日（土）

会場 武庫川女子大学 中央キャンパス L 2-51 教室

シンポジウム「ナボコフ・アフタヌーン」

テーマ「ナボコフ・ルネサンスのあとさき——新訳で読みなおすスイス時代の創作」

司会・イントロダクション：後藤 篤

（京都府立大学）

講師：森慎一郎（京都大学）

「『淡い焰』を翻訳して」

講師：後藤 篤

「ナボコフと遠爆の時代——『ワルツの発明』の地政学的無意識」

講師：メドロック麻弥（佛教大学）

「『シャーロットの亡霊』再来——『見てごらん 道化師を！』と人魚姫」

コメンテーター：若島 正

総括・質疑応答

★例会前に運営委員会を開催

☆7月21日（土）『関西アメリカ文学』第55号編集委員会（第2回）於：武庫川女子大学

☆9月例会 9月15日（土）

会場 京都外国語大学 4 号館 R452教室

研究発表

1. 中国で読むサリンジャー——*Nine Stories* を中心に

発表者：姚 明遠（ヨウ・メイエン）

（京都大学・院）

司会：里内克巳（大阪大学）

2. Joy Kogawa の異民族間表象——日系カナダ人とカナダ先住民の精神的連帯感

発表者：古川拓磨（神戸大学・院）

司会：松本ユキ（近畿大学）

3. *The Sound and the Fury* における黒人登場人物の発話翻訳とその分析

発表者：菅沼幸子（同志社女子大学・院）

司会：山下 昇（相愛大学）

★例会前に運営委員会を開催

☆10月例会 10月13日（土）

会場 大阪大学豊中キャンパス 文法経研究講義棟 4 階 文41講義室

研究発表

1. 「混入する病い——19世紀医学表象から読む

The Scarlet Letter

発表者：小南 悠（関西学院大学・院）

司会：妹尾智美（立命館大学）

2. 「“Mother Catherine”におけるヴードゥー——*Their Eyes Were Watching God* への影響」

発表者：小林亜由美（京都大学・院）

司会：古賀哲男（大阪市立大学）

3. 「「紙束」をめぐる物語——Edith Wharton の *The Touchstone* を読む」

発表者：野末幸子（大谷大学）

司会：吉野成美（近畿大学）

★例会前に運営委員会を開催

☆11月例会 11月10日（土）

会場 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス F 号館 104号教室

若手シンポジウム「現代作家が愛した古典」

司会：池末陽子（関西外国語大学）

講師：尾田知子（神戸大学・院）

講師：植村真未（大阪大学・院）

講師：今崎 舞（武庫川女子大学・院）

講師：四方朱子（京都大学・院）

★例会前に運営委員会を開催

☆支部大会 12月15日（土）

会場 近畿大学 東大阪キャンパス B 館（経済学部棟）1 階 B101教室

フォーラム「アメリカ文学における笑いとその戦略——スラップスティック、オートマティズム、キャンプ、ポストアイロニー」

司会・講師：山本秀行（神戸大学）

講師：牧野理英（日本大学）

講師：古木圭子（京都学園大学）

講師：麻生享志（早稲田大学）

2019年

☆臨時総会 1月12日（土）

会場 甲南大学 岡本キャンパス 2号館 2階221教室

講演

講師：佐々木徹（京都大学）

演題「ヘンリー・ジェイムズの小説芸術と英国小説——ジョージ・エリオットを中心に」

司会：水野尚之（京都大学）

★例会前に運営委員会を開催

☆運営委員会 4月6日（土）於：関西外国語大学中宮キャンパス ICC6211

☆支部総会 5月11日（土）

会場 関西学院大学上ヶ原キャンパス F 号館203

講演

講師：山下 昇（相愛大学名誉教授）

演題「後期フォークナーのおもしろさ——スノープス3部作を中心に」

司会：金澤 哲（京都女子大学）

☆5月18日（土）『関西アメリカ文学』第56号編集委員会（第1回）於：大阪市立大学梅田サテライト

☆6月例会 6月8日（土）

会場 京都府立大学稲盛記念会館106

研究発表

1. 「疎外を「修正」できるか——Jonathan Franzen の *The Corrections* とエッセイをめぐる解釈の問題」

発表者：小倉永慈（大阪大学・院）

司会：吉田恭子（立命館大学）

2. 「早すぎた James——夏目漱石「こゝろ」と “The Turn of the Screw”」

発表者：四方朱子（京都大学・院）

司会：竹井智子（京都工芸繊維大学）

3. 「怒れる父——トマス・ピンチョン『逆光』におけるテロへの眼差し」

発表者：玉井潤野（三重大学）

司会：石割隆喜（大阪大学）

中・四国支部

2018年

☆『中・四国アメリカ文学研究』第54号発行（6月1日）

☆『中・四国アメリカ文学会会報』第57号発行（6月1日）

☆中・四国アメリカ文学会評議委員会
開催日 6月16日（土）
会場 島根大学

☆中・四国アメリカ文学会第47回大会
開催日 6月16日（土）・17（日）
会場 島根大学 大学会館3階 大集会室

第1日 6月16日（土）

研究発表

1. 川下 剛（広島修道大学）
「ナサニエル・ホーソーンとミンストレルの語り」
司会：辻 祥子（松山大学）
2. 酒井康宏（米子工業高等専門学校）
「スタインベックの *The Wayward Bus* を読む——ケルト文化からみた一考察」
司会：山内 圭（新見公立大学）
3. 渡邊真理香（高知工業高等専門学校）
「アジア系アメリカ文学の中の同性愛——Nina Revoyr 作品をめぐって」
司会：吉田美津（松山大学）
4. 若松正晃（福山大学）
「誰がハリー・モーガンを殺したのか——*To Have and Have Not* における人間存在への問い」
司会：平井智子（広島国際大学）

特別講演

講師：阿部公彦 氏（東京大学）
演題 小説家の英語——大江健三郎は何を受け取ったか？
司会：大地真介（広島大学）

第2日 6月17日（日）

シンポジウム

「ラフカディオ・ハーンとアメリカ文学」
司会：渡部知美（島根大学）

1. 講師：渡部知美
「霊の創造——ハーンとトニ・モリソン」

2. 講師：宮澤文雄（島根大学）
「アメリカのゆくえ——世紀転換期のハーンとドライサー」
3. 講師：横山純子（島根県歯科技術専門学校講師・島根大学ラフカディオ・ハーン研究会事務局長）
「ラフカディオ・ハーンの二つの小説に描き出された母性愛」
4. 講師：小泉 凡（小泉八雲記念館館長・島根県立大学短期大学部名誉教授）
「ラフカディオ・ハーンとアメリカ——没後の社会的影響を中心に」

総会

☆「News Letter」第98号発行（11月1日）

☆支部運営委員会

開催日 12月15日（土）
会場 広島経済大学 立町キャンパス

☆冬季大会

開催日 12月15日（土）
会場 広島経済大学 立町キャンパス 132教室

研究発表

1. 尾田知子（神戸大学（院））
「J. D. Salinger の初期短編における文学作品の使用」
司会：栗原武士（県立広島大学）
2. 菅井大地（松山大学）
「隔離施設としてのパストラル——Steinbeck の *Of Mice and Men* における障害者と環境」
司会：中島美智子（米子工業高等専門学校）
3. 遠藤 緑（島根大学（院））
「二つの日系——ジョン・オカダとカズオ・イシグロを比較して」
司会：前田一平（鳴門教育大学）
4. Dierk Günther（徳島大学）
「Robert E. Howard's "The Hyborian Age" Essay: Constructing the History of an "Age Undreamed Of"」
司会：島 克也（安田女子大学）

☆「Newsletter」第99号発行（12月26日）

2019年

☆支部編集委員会（論文審査）

開催日 2月12日（火）

会場 サテライトキャンパスひろしま

九州支部

2018年

☆国際講演会

九州ヘンリー・ジェイムズ研究会・北九州アメリカ文学研究会共催

九州アメリカ文学会助成

6月16日（土）11時～12時30分

北九州市立大学 小倉サテライトキャンパス

マーク・セルツァー（カリフォルニア大学ロサンゼルス校教授）

“Official Worlds in American Literature”

司会：齊藤園子（北九州市立大学）

☆9月例会

9月1日（土）14時～17時

西南学院大学 学術研究所第4会議室

研究発表1

川村真央（九州大学・院）

「抑圧からの解放を求めて——Henry James の *Roderick Hudson* にみる願望の挫折」

司会：名本達也（佐賀大学）

研究発表2

幸山智子（九州産業大学非常勤講師）

「暗闇への跳躍——*A Streetcar Named Desire* における D. H. Lawrence の影響／触覚のリリズム」

司会：坂井 隆（福岡大学）

研究発表3

前屋敷太郎（九州産業大学非常勤講師）

「*Tom Sawyer Abroad* における自然人 Huck Finn と教育」

司会：江頭理江（福岡教育大学）

☆日本英文学会第71回九州支部大会

10月20日（土）15時～17時30分

九州女子大学弘明館2階 C222講義室

アメリカ文学部門シンポジウム

「反都市化から読み解くアメリカ文学」

司会・講師：江頭理江（福岡教育大学）

講師：高橋美知子（福岡大学）

講師：早瀬博範（佐賀大学）

講師：上西哲雄（東京工業大学名誉教授）

☆12月例会

12月8日（土）14時～17時30分

福岡大学文系センター棟15階第6会議室

研究発表

三牧史奈（熊本県立大学大学院博士後期課程）

「Tim O'Brien と冷戦イデオロギー——*If I Die in a Combat Zone* に見る戦後アメリカの政治思想」

司会：渡邊真理子（西九州大学）

ワークショップ

“Retrospectives on Technology in American Literature: Art and Transformations of Identity”

Moderator: Yoshimi Nitta (Fukuoka University)

Speaker: C. Scott Pugh (Seinan Gakuin University)

“Music on a Roll: The Trajectories of Player Pianos and American Identity”

Speaker: Yoshimi Nitta

“The Theater of Sensory Stimulation: Automata in Steven Millhauser's Short Stories”

Speaker: Kinuyo Koikawa (Kindai University)

“Archival Technologies and Diffused Identities in Don DeLillo's *Libra*”

Speaker: Keiko Shimojo (Kyushu University)

“Overwriting the Self: Autobiography and Technologies of Photography”

2019年

☆役員会・KALS 賞選考会

3月9日（土）13時～

佐賀大学教養教育2号館、英語資料室

☆九州アメリカ文学会第65回大会

5月11日（土）、12日（日）

琉球大学

第1日目 5月11日（土）

研究発表 午前の部

第一室 3-102教室

生田和也（鹿児島女子短期大学）

「*Hawthorne's First Diary* を読む——Hawthorne の少年期をめぐって」

司会：城戸光世（広島大学）

第二室 3-103教室

Robert Preslar（西南学院大学）

“Traces of Poe's 'pestilent and mystic vapor' in Hitchcock's *Vertigo*”

司会：竹内勝徳（鹿児島大学）

総 会（KALS 賞の報告および授賞式）3-104教室

研究発表 午後の部

第一室 3-102教室

(1) 齊藤園子（北九州市立大学）

「Henry James の *Watch and Ward*——雑誌掲載作品と単行本作品の相違に関わる一考察」

司会：名本達也（佐賀大学）

(2) 村橋素行

「*The Jolly Corner* の結末は、なぜハッピーエンドなのか」

司会：乗口眞一郎

第二室 3-103教室

(1) 岡本太助（九州大学）

「比較文学的母性論——Hawthorne, Faulkner, Atwood から Parks と現代日本文学へ」

司会：宮本敬子（西南学院大学）

(2) Frank Osterhaus（西南学院大学）

“Considering the Plot and Form of Don DeLillo's *Libra*”

司会：肥川絹代（近畿大学）

特別講演 3-104教室

水野尚之（京都大学・日本アメリカ文学会会長）

「古いニューヨークの話——あるクエーカー教徒との40年」

司会：早瀬博範

第2日目 5月12日（日）

シンポジウム 3-104教室

「〈戦前〉知識人の Warscape」

司会・講師：大野瀬津子（九州工業大学）

講師：高田とも子（福岡大学）

講師：齋藤 一（筑波大学）